

地方都市における高校生から見たまちづくりの課題と将来と居留意向に関する考察 —高知県幡多地域におけるケーススタディー—

高知大学 正会員 ○坂本 淳

1. 研究の背景と目的

人口減少と高齢化による地方のまち・生活への影響は、生活利便性や地域の魅力の低下を通じて、さらなる人口減少を招くという悪循環に陥ることが考えられる。人口減少が深刻な地方都市において、将来世代にわたり魅力的なまちづくりを行うためには、若者の都市への流出の抑制が方策のひとつと考えられる。そこで本研究では、人口減少が深刻な問題となっている高知県幡多地域を対象として、高校生から見たまちづくり上の課題と将来の居留意向の分析を通じて、若者の地域からの流出抑制に向けた課題を考察する。

2. 研究方法

研究に用いるデータは、高校宿毛高校1年～3年生、宿毛工業高校1,3年生を対象として、2019年10月に高校を通じて実施したアンケート調査である。計455名の回答結果を回収したが、本研究では将来の居留意向の分析という観点から、幡多地域に居住する388人（四万十市：107人、宿毛市：195人、土佐清水市：14人、黒潮町：23人、大月町：39人、三原村：10人）の結果のみを用いる。本研究に関連する質問項目は、宿毛市のまちづくり上の課題、卒業後の進路希望・希望職種、将来の定住意向と理由である。これらについて単純集計を行うとともに、定住意向に影響を及ぼす要因について非集計モデルを構築した結果に基づき考察する。

3. 結果と考察

3-1 単純集計結果

宿毛市のまちづくりに関する改善要望として設定した9項目について5段階評価で回答してもらった結果を図-1に示す。なお当該質問は宿毛市のまちづくりに限定していることから、回答者によっては宿毛市のまちと深い関わりがない者も含まれていることに留意する必要がある。図より、景観や風紀に関して改善を求める者の割合が低い一方、買い物や公共交通の利便性、災害に強いまちづくり、働く場所で改善を求める者の割合が高いことがわかる。

卒業後の進路については、進学が45%、就職が41%とほぼ半数となっている（図-2）。なお、幡多地域には大学が存在しないため、進学の場合は地域外へ転出することになる。将来の希望職種を複数回答で尋ねたところ（進学希望者は進学先の大学などの卒業後の希望職種）、医療・介護・福祉が最も多く、続いて製造・工場・倉庫・土木・建設、事務・オフィスワーク、教育・カルチャー・スポーツとなった（図-3）。

将来（およそ40歳以降）の定住意向については、未決定である者の割合が最も高い（44%）一方で、地元（幡多地域）に住みたくないとする者（30%）が、住みたいとする者の割合（26%）よりも高くなっている（図-4）。また当該質問の後に、それぞれ住みたい・住みたくないと回答した理由を複数回答で尋ねたところ

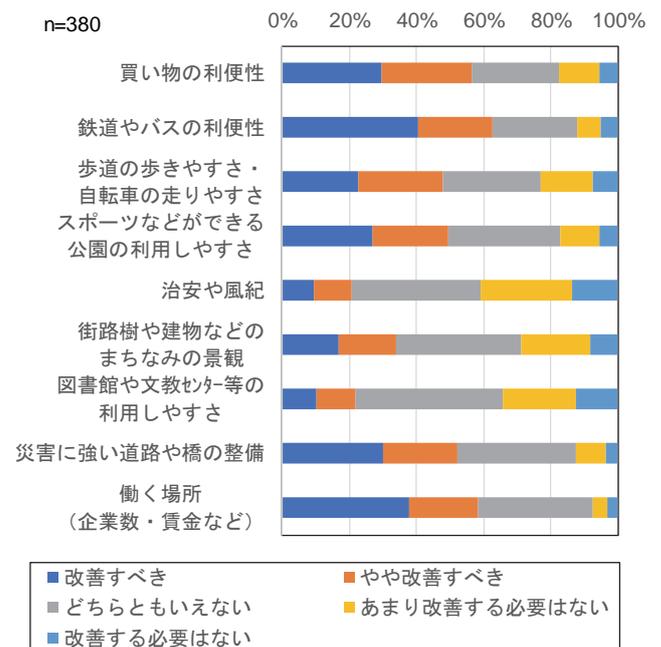


図-1 宿毛市のまちに対する改善要望

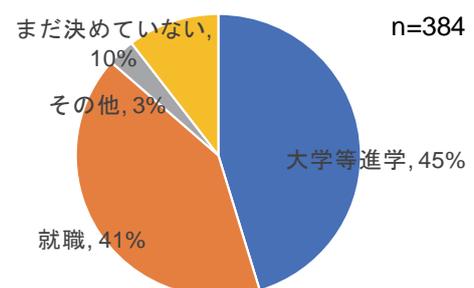


図-2 高校卒業後の進路希望

ろ、住みたい理由としては、住み慣れた豊かな自然環境を挙げる者が多い一方、住みたくない理由としては、日常生活の利便性や仕事環境に対する不満を挙げる者が多いことがわかった (図-5)。

3-2 非集計モデル

定住意向に影響を及ぼす要因を明らかにするため、順序ロジットモデルを構築した。独立変数は将来の定住意向を (地元に住みたい: 1, わからない: 0, 地元に住みたくない: -1), 従属変数は進学希望ダミー, 宿毛市のまちづくり上の課題 (0: 改善する必要はない~4: 改善すべき), 将来の希望職種ダミーとし、ステップワイズ法や個別の検定結果を参考としながら相対的に良好な精度となったモデルを表-1 に示す。

表より、将来定住する意向にある者は、進学を希望しない者、買い物利便性やまちなみに対する改善要望がない者、主に第3次産業への就職を希望しない者、消防警察への就職を希望する者である傾向がわかった。まちづくり上の課題については多重共線性の関係から他の変数が入っていないが、ほとんどの項目で改善する必要はないと考える者が将来定住意向にあることを確認している。

4. まとめ

今後の地域からの流出抑制に向けた方策として、進学などで地元を離れた者に対して、その後も故郷と交流をもってもらふ機会の創出、地元の第3次産業の広報、地元の高校生を公務員として採用すること等が考えられる。また、まちづくり学習等を通じてまちを知ってもらうことも、高校生のまちに対する改善要望の考え方の変化のきっかけとなる可能性もある。

【謝辞】 調査実施に協力いただいた宿毛市都市建設課、宿毛高校、宿毛工業高校のご担当者様、調査結果集計に協力いただいた高知大学の研究室の学生の皆様に感謝いたします。

表-1 モデル構築結果

独立変数	パラメータ	t値	
進学希望ダミー	-0.648	-3.01 **	
まちづくり課題	買い物利便性	-0.217 -2.22 **	
	まちなみ景観	-0.320 -3.08 **	
将来の就職希望ダミー	事務オフィス	-0.713 -1.71 *	
	ドライバー配達	-2.307 -1.77 *	
	販売	-1.962 -1.60	
	出版	-0.808 -1.36	
	教育カルチャー	0.574 1.42	
	専門職	-0.623 -1.38	
	消防警察	1.406 2.27 **	
	市役所職員	0.503 1.23	
	サンプル数	353	
	自由度調整済み尤度比	0.072	

**5%有意, *10%有意

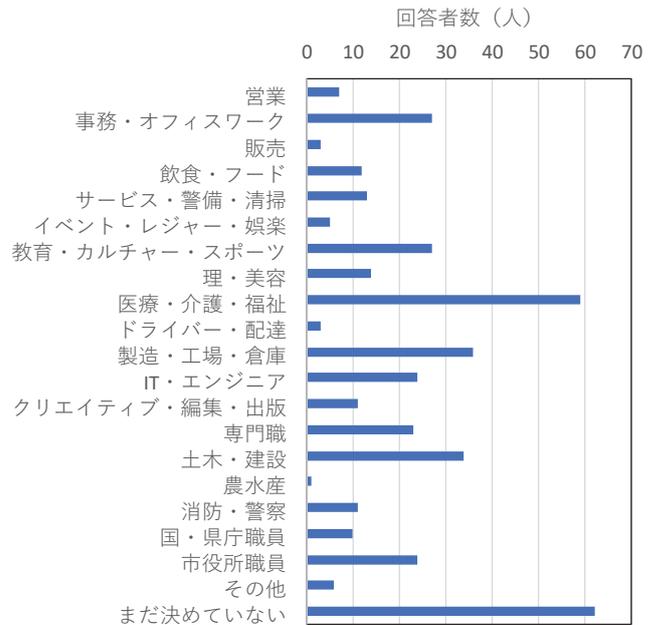


図-3 将来の希望職種

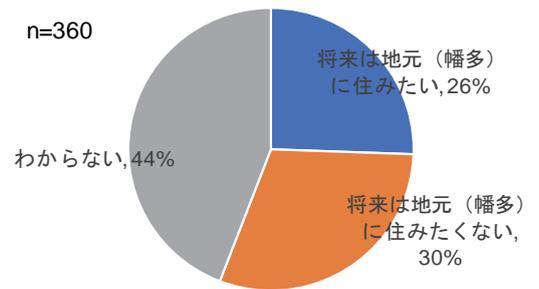


図-4 将来の定住意向

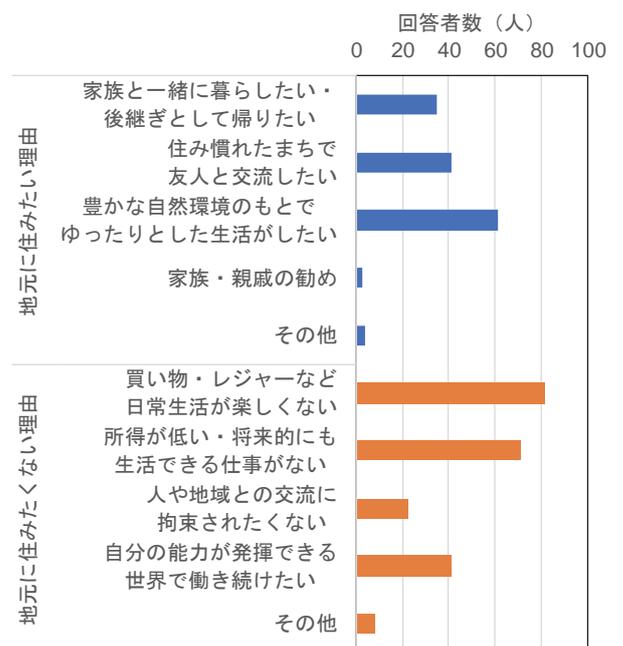


図-5 定住意向別の理由